

平成28年5月吉日

公益社団法人日本技術士会中部本部三重県支部年次大会・セミナー開催

主催 公益社団法人日本技術士会中部本部三重県支部

平成28年度三重県支部 年次大会・セミナー開催のご案内をさせていただきます。なお、終了後懇親会を行いますので、こちらもご参加いただきますようお願いいたします。

記

1. 日時

平成28年6月25日(土)

13:00～17:00

2. 場所

ホテルザグランコート津西 The Room (添付資料 地図参照)

3. 年次大会(会員)

13:00～13:50

・三重県支部長挨拶および報告「H27年度事業結果、並びにH28年度事業計画」

三重県支部長 平田賢太郎

・会員情報交換 ・講演会一般受付

4. 講演会

「国策による負の遺産、四日市公害～そこからの教訓を原発にどう反映するか～」

14:00～15:15

江口技術士事務所所長 江口正臣様(技術士—化学部門)

講演概要:高度経済成長の時代、エネルギー(電力)の確保が国策として重要課題であった。そのために住民が四日市公害に遭遇し、移転を余儀なくされたことは、福島第一原発事故の避難と同じ状況であった。現在の原発も同じようにエネルギーの供給源問題として重要な手段であり国策であるが、同じような事態を繰り返している。社会貢献・公益性という判断は、立場によってその優先順位の評価は変わっている。いくつかの原発賛否の両者の報告を披瀝し、技術者倫理・企業倫理の判断基準としてどうあるべきかを改めて考えてみたい。結論を導くつもりはありませんが、裁判所は経済活動の重要性は理解しながらも、より生存権を優先した判断をされている。我々はどう考えるか?

「乗物酔の人間情報学 —動揺病の発症原因と軽減技術—」

15:30～16:50

三重大学 大学院 工学研究科情報工学専攻

工学部 情報工学科 知能工学講座 人間情報学研究室

教授 井須 尚紀様

講演概要:動揺病(乗物酔)の歴史は船酔に始まり、新しい交通手段が普及する度に新しい乗物酔が登場してきました。乗物以外でも、無重力下で発症する宇宙酔や、バーチャルリアリティによるサイバー酔、自動車や航空機のシミュレータで生じるシミュレータ酔などが知られています。いずれも視覚や前庭感覚等を介して身体運動や傾斜を知覚させる刺激が原因となっています。本講演では、動揺病が起こる仕組みや原因を解説し、動揺病を軽減する技術の開発研究や、生体計測による動揺病定量化の試みを紹介します。

5. 参加費用 日本技術士会会員1,000円、会員以外2,000円

6. 懇親会

17:30～19:30

場所 : 海新居酒屋 はなの舞 津駅前店 050-5798-0335

会費 : 4,000円(飲み放題)

7. 依頼 CPD証明発行の都合上、出欠連絡表は6月18日までにお送り下さい。

添付資料 出欠連絡表、ホテルザグランコート津西地図

添付資料

出欠連絡表

TEL&FAX: 0593-46-8818

郵送 〒510-0954 四日市市采女町430-3 平田技術士・労働安全コンサルタント事務所 平田賢太郎

E-mail: kentaro.hirata@processint.com

お名前	年次大会・講演会		懇親会	
		出席	欠席	出席

○記入または削除をしてください。

ホテルザグランコート津西

〒514-0006 三重県津市広明町 345-4 TEL 059-227-8333



●: はなの舞 津駅前店 050-5798-0335

以上